

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

●家庭に太陽光発電がある方は 停電・災害時でも電力を使えます

災害により長期間停電になった場合でも、太陽光発電システムに備わっている自立運転機能を活用することで、電力を使うことができます。太陽光発電システムを設置されている方は、平常時に使い方を確認しておきましょう。

※約88%の機種に自立運転機能が備えられています（社団法人日本電機工業会調べ）。

自立運転機能の使い方



- 1 自立運転コンセントがどこにあるのか確認し、取扱説明書を読む
- 2 主電源ブレーカーをOFFにする
- 3 太陽光発電ブレーカーをOFFにする
- 4 自立運転モードに切り替える
- 5 接続機器を自立コンセントにつなぐ
- 6 必ず元に戻す。自立運転モード解除↓太陽光発電ブレーカーON↓主電源ブレーカーONの順で復帰

◆自立運転機能使用時の注意

- メーカーや機種により、操作方法が異なります。必ず付属の取扱説明書を確認してください。
- 自立運転コンセントの容量は1500W（1.5kW）です。接続機器の容量を確認してください。
- 雨天・曇天時は出力が低下します。電源が切れると故障する可能性のある機器は接続を避けてください。

再生可能エネルギーのなかでも、個人で導入しやすい太陽光発電システム。市



では、太陽光発電システムの設置に対し、補助を行っています。概要は、広報たはら4月1日号のおしらせ17頁、または市ホームページをご覧ください。※詳しくはお問い合わせください。

● たはらエコチャレンジ宣言登録者数個人2133人・事業所81か所（3月末現在）

▼ エコエネ推進課

☎ 23局 7401 FAX 23局 0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん⑪



ごみの減量化・資源化の一環として、5月からエコキャップ運動を開始します。今回は、リサイクル活動を通じて、地球環境と世界の子どもたちを救うことを目的とした取り組みについてご紹介いたします。



●エコキャップ運動とは

ペットボトルのキャップを集めて業者に売却し、その利益を「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄附します。売却されたペットボトルのキャップは、文房具や生活用品などにリサイクルされます。



●ワクチン1本に換えるには

ペットボトルのキャップ430個（約1kg）で10円になります。

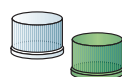
●ワクチンの単価（二人分概算）

- ポリオ（小児マヒ）… 20円
- はしか… 95円
- BCG（結核）… 7円

※ユニセフ・サプライバイジョンによる概算です

●回収するもの

飲料用のペットボトルのキャップ（PP・ポリプロピレン素材）



※しゅう油やソース、酒など飲料用以外のキャップは回収しません。

●回収場所

田原市役所、赤羽根市民センター、渥美支所、東部資源化センター、赤羽根環境センター、渥美資源化センター、各市民館

●キャップの出し方

- 1 キャップを水ですすいで乾かす。
- 2 キャンペーンシールや値札などをはがす。
- 3 エコキャップ回収箱に入れる。

現在、ペットボトルのキャップは、「プラスチック容器類」として分別回収していますが、ぜひエコキャップ運動にご協力ください。



▼清掃管理課

☎ 23局 3538 FAX 23局 0180